

地域づくり合同ワークショップの開催について

企画政策課

1 趣旨

人口減少をはじめとした地域課題に各地域が主体的に取り組むため、地域の資源、地域の団体の関係性などを図化することで課題や改善点、強みを認知し、移住定住増加のために各地区でどのような取り組みが必要かを考えるワークショップや検討会を行いました。

2 内容

●地域づくり合同ワークショップ

（一財）持続可能な地域社会総合研究所 藤山 浩 氏を講師に迎えて実施。地元の資源や課題などを図化することで認知し、それぞれの地域についての理解を深め、地域人口の1%を取り戻すために、各地区で何に取り組むか、何が必要かを考えました。

ワークショップ後の発表では、移動手段の確保や観光資源を生かした地域振興、空き家や賃貸住宅の活用など各地区から様々な提案が出ました。

令和元年度は古布庄地区で同様のワークショップを実施。今回はコロナウイルス対策のため、合同開催としました。

日時：11月20日（金） 19：00～21：20

場所：まなびタウンとうはく研修室

参加地区：上郷地区、下郷地区、以西地区



【ワークショップの様子】

●古布庄地域のあり方検討会

古布庄地区では、令和元年度に地域づくりワークショップを行い、今後の地域運営のかたちについて話し合いを重ねています。今回は藤山氏をアドバイザーとして、昨年のワークショップの結果や他地域の事例も見ながら、話し合いをしました。

日時：11月19日（木） 19：00～21：00

場所：古布庄地区公民館

参加者：古布庄地区公民館運営委員、地域振興協議会役員、区長

●報告会

（一財）持続可能な地域社会総合研究所による琴浦町の地域人口ビジョンや、上記の合同ワークショップ等の結果について、全町民を対象とした報告会を開催します。令和2年2月下旬開催予定。

ことうら「食」の魅力発信プロジェクト事業について

企画政策課

1 事業目的

琴浦町の豊かな「食」を町内外へ発信するため、フジサンケイグループのネットワークを活かしたプロモーションが可能な扶桑社と協働。雑誌・オンライン等のメディアを活用し琴浦町の食材の魅力アップやPRを行うとともに、ふるさと納税に繋げる。

2 企画内容

(1) 概要

扶桑社メディア連載企画として、有名料理店「賛否両論」店主・笠原将弘^{かさはらまさひろ}氏を起用し、琴浦産品を活用した“琴浦ならではの”の四季のレシピ開発を行う。町内での食材探しやレシピ開発の様子などに密着し、年間を通してメディアで発信する。また、完成したレシピは地元飲食店や給食メニューで提供するとともに、使用した食材をふるさと納税返礼品として紹介・提供することで琴浦町のファン増加に繋げる。



起用料理人 笠原将弘さん

東京・恵比寿にある日本料理店「賛否両論」店主。朝の情報番組「ノンストップ」内 ESSE 連動コーナー「笠原将弘のおかず道場」をはじめ、テレビや雑誌など幅広い分野で活躍中。

(2) 業務委託期間

令和2年7月31日～令和3年10月31日

(3) 実施内容

内容	媒体	回数	備考
エッセ ESSE	雑誌	4回	4C2P / 掲載月 12・3・6・9月
エッセ オンライン ESSE online	WEB	12回	毎月1回配信
ハルミ haru_mi	雑誌	2回	4C4P / 掲載月 12・9月
天然生活	雑誌	2回	4C1P / 掲載月 12・9月
カラふる	WEB	2回	配信月 12・9月
地上波 30秒CM	テレビ	8回	フジテレビ「ノンストップ」内
試食会	イベント	2回	東京、琴浦町（各1回）

※企画終了後、レシピや ESSE 掲載内容をまとめた小冊子(4C・12P)を制作する。

3 経過・進捗状況

10 月	ESSE 町内ロケ（笠原氏来町） とうはく畜産、野菜畑(小前さん宅)、赤碓港(せり見学)、梨園(秋田さん宅)、 その他町内名所 など		
	haru_mi 町内ロケ 移住者夫婦へのインタビュー、大谷酒造、山本おたふく堂、みるく館、高 塚かまぼこ、小倉糰味噌加工所 など		
	料理撮影（東京） 都内「賛否両論」にて料理の撮影		
11 月	ESSE online 配信 惑星コトウラ発表に合わせ、惑星コトウラ特設サイ トオープン、ESSEonline 配信、ふるさとチョイスに て特集ページを展開	惑星コトウラ 特設サイト	
		ふるさと納税 特集ページ	

町内取材の様子



4 直近のスケジュール

12 月	1 日	haru_mi 冬号発売
	2 日	ESSE 新年号発売、ESSEonline 配信
	7 日	試食イベント（東京） インフルエンサー(16 名)を招待、琴浦町の食材を使った笠原氏考 案の料理の試食や、町の紹介を行う。 インフルエンサーの発信力や拡散力を生かし、町の PR を図る。
	9 日	カラふる配信
	16 日	ESSEonline 配信
1 月	9～10 日	町内ロケ
	25 日	料理風景撮影（東京）

第4期とっとり琴浦熱中小学校について

企画政策課

1 第4期生徒について

- (1) 生徒数 個人76人(男性59人、女性17人)
法人7社(各2名)〔法人継続6社〕

(2) 今期の特徴

- ・現地受講とオンライン受講の併用(希望制)
- ・大学生の新規入学4人、首都圏からの新規入学4人
- ・コロナ禍の影響により、熱中小学校全体では平均17%の生徒が減少する中、とっとり琴浦熱中小学校では、3%の減少率にとどまっている。



2 運営状況について

- (1) ふるさとみつけ塾(関係人口創出事業)の取り組み

- ・熱中小学校 PR 動画の作成
とっとり琴浦熱中小学校への入学促進のため、熱中小学校の元気と町の魅力を伝える PR 動画を作成。近日中に熱中小学校のホームページ上で公開。
- ・HIS 旅行企画の実施(熱中小学校×HIS)
2/20 オープンスクール受講と町内観光を組み合わせ、ツアーパッケージ化
熱中小学校を通じて都市部からのツーリストと町を結ぶことで地域経済の活性化と関係人口拡大へと繋げるねらい

(2) 全国の状況について

- ・銚子熱中小学校(千葉県銚子市) 令和2年10月開校
- ・きもつき熱中小学校(鹿児島県肝付町) 令和3年1月開校
- ・ひとよくま熱中小学校(熊本県人吉市) 令和3年4月開校予定
- ・上記3校を含め、現在全国15校、海外1校に展開予定

3 今後の授業スケジュールについて

日程	内容
11/28(土)	千葉祐士氏(食) ㈱門崎 熟成肉の先駆者で、和牛の魅力を伝える 原田英男氏(共生) 宮崎こばやし熱中小学校長 千葉氏との合同授業
12/19(土)	坪田知己氏(国語) 文明デザイナー 「日経・電子版の生みの親」 宮川順子氏(家庭科) 日本味育協会代表理事 健康を守る食セミナー講師
1/23(土)	畠中智子氏(美術) 株式会社わらびの代表 土佐旅福ブランドを展開 河越行夫氏(特別講師) 宝製菓(株)代表取締役社長 土産物を全国に展開
2/20(土)	増田寛也氏(社会) 日本郵政(株)代表執行役社長。元総務大臣 開沼 博氏(生活) 立命館大学准教授 著書「はじめての福島学」
3/27(土)	飯塚藤兵衛氏(特別講師) 「ゲゲゲの女房」生家の主人 元小学校長 古田琢也氏(特別講師) (株)シーセブンハヤブサ社長 隼ラボを運営

時間：午後1時～ 会場：まなびタウンとうはく4階多目的ホール